

(法第28条第1項)

平成26年度 特定非営利活動に係る事業報告書(第7期)

千葉県松戸市新松戸四丁目257番地の1ニューホームマンション1階
特定非営利活動法人子どもの環境を守る会 Jワールド
理事長 三浦 輝江

1 事業の成果

今年度は昨年度からさらにユース事業の内容がひろがり充実した。

26年度から松戸市で初めての被生活保護世帯の学習支援事業が始まった。松戸市で初めてということまで全てが手探りで始まったが、3月高校受験を終えた3年生は全員合格し大きな成果となった。何よりも嬉しいことは卒業してもユースの居場所である「ユースペース」に継続している生徒がいることだ。

県立松戸向陽高等学校3年生家庭科授業をユーススタッフが行った。

また、地域の方々、学校関係者との連携もさらに深くなった。

10月聖徳大学生涯学習研究所「明日のまつどを創造する!」、10月聖徳大学短期大学部保育課2年生「地域貢献活動の実践」授業、12月日本協働政策学会大会、1月四街道市民大学「みんなで地域づくり講座」、2月全国学びとまちづくりフォーラム in 佐野、それぞれでJワールドの活動を発表紹介させていただいた。

また、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金第2期事業指定プログラムに選ばれた。

「久光製菓ほっとハート倶楽部」様より、全国で選ばれた52団体の1団体として活動資金のご寄付をいただいた。

Jキッズ

地域交流

- ・地域交流昔遊び
- ・町会の敬老会に参加する町内のグループホームを慰問
- ・新松戸ゴミ拾い

世代を超えて地域の方々と、共に歌い、共に遊ぶことを通して、家族以外の方々と交流することで、確実に小学生たちの視野が広がり、人の役に立つ喜びを味わい、自信を持ち確実に成長している。

里山プロジェクト

- ・香取市との地域を超え、世代を超えた交流成果

地域を超えた小学生が共に廃校で遊び、チームワークを作り、校庭で創作料理を里山古道保存の会の老人の方々に振舞うことで、松戸市から飛び出して、自分たちのできることがあるという発見と自信付けとなっている。

Jキッズのモットー「自分で考え自分でやる力を誰かのために使おう！」の実現となっている。

防災

- ・地域の防災マップ作り：NHKの防災マップを作る

おやこDE広場旭町

- ・総利用者数5,520名と25年度に比べ千名以上も増えた。
- ・異年齢交流としてシルバー人材センター女性部の方の読み聞かせ、旭町中学の生徒の夏休みボランティアは14回36人が参加。旭町中学3年生家庭科ふれあい体験授業は6回81人が広場に来られ、親子の参加は61組138人だった。その中には旭町中学の卒業生もおられ、地域のつながりの深さに喜んだ。
- ・子育てコーディネーターは幼稚園、保育園、保育所訪問をし、広場やコーディネーターの活動を紹介した。

子育てセミナー

- ・8月に「ちいき新聞」に掲載され、松戸市だけでなく流山市からの参加もあった。
- ・毎回、新しい方の申し込みがあり、お父さんの参加も見られた。
- ・継続参加者の中から、スタッフとして加えられた。
- ・手作りお菓子の提供もあり、セミナーだけではなくお母さんの居場所づくりになっている。

リトミック

- ・参加者の中からピアノ奏楽者がスタッフに加えられた。
- ・ホームページを見て参加する方が増えた。
- ・子育てセミナー同様、ランチ持参で居場所づくりとなっている。

ユース事業

- ・里山草刈りは継続で千葉県香取市にて開催。香取市及び栗源古道保存の会の協力を得て、最高気温39度の猛暑の中、自分よりも背の高い草木を全力で草狩り作業を行った。
- ・ユーススペースは放課後の中高生の居場所として開催。ゲーム、バンド、勉強、心の相談など自由に参加。中高生にとって大切な居場所となっている。
- ・県立松戸向葉高等学校、3年生家庭科授業「ライフプランニング、コミュニケーションの土台～あなたは高価で尊い宝物～」が初めて開かれた。授業が始まる前は「自分のことが嫌い」という生徒がほとんどだったが、授業の終わりには「自分のことを大切だと思う」という生徒が増え、さらに家庭科の先生が学年最後に再度アンケートをとった結果、ほとんどの生徒が「自分を大切に思う」が継続しており、先生方の間、学校でも驚

きの評判となった。

ゲットユアドリーム事業

- ・松戸市中高生支援事業として委託。
- ・ファシリテーター力を身につけるためのファシリテーター講座が4回に渡り開催。県立松戸向陽高等学校にて開かれたゲットユアドリームは4名の講師を招き、参加者は自分の将来について語り合った。

学習支援・居場所づくり事業

- ・松戸市委託事業。
- ・週2回松戸市被生活保護世帯の中学生を対象に学習支援を行った。
- ・勉強を教えるだけでなく、居場所づくりとしての機能をもち、学力向上を通し、自立する力を養うことを目的として行った。
- ・定期的に通っていた生徒は全員高校に合格した。
- ・人の輪に入れなかった生徒が笑顔を見せ、一緒にゲームができるようになった。
- ・多くの生徒が最初は暗く表情もなかったが、通ううちに挨拶や会話をするが増えた。
- ・卒業後もユーススペースに通い続けている生徒が数名いる。

2 事業の実施に関する事項 26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の平均人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①Jキッズ事業	子どもの健全な育成を目的とする企画・運営をする。ボランティア活動への参加。	月2回 土曜日	SRCビル2F 多目的ホール	6人	延べ： 中学・高校生(48名) 小学生以下(170名)	214
②リトミック事業	子どもが心身共に自立した大人になるための企画・運営(リズム体操など)。	月4回 木曜日 (1日2回)	SRCビル2F 多目的ホール	4人	延べ： 未就園児(1,108名) 子ども達の親を含む	78
③ユース事業	中学生・高校生向けに心の相談室の設立	月20回	SRCビル2F 多目的ホール	4人	延べ： 中学・高校生(1,802名) 里山(10名)、 ユース(1,739名)、 GYD(53名)	1,683
④子育てセミナー事業	バウンダリーについての講演会や研修会を開催。カウンセリングを含む。	月2回 水曜日	SRCビル2F 及び3F多目的ホール	14.4人	延べ： 松戸市及び近隣の 市民(743名)	195
⑤普及啓発事業	上記事業についてのホームページを開設し、チラシ配布などにより活動内容を紹介。子育てについての意識の啓発。	随時	SRCビル2F 多目的ホール	2人	不特定多数	0
⑥おやこDE広場 旭町 (松戸市委託事業) (子育て支援コーディネート・ふれあい体験を含む)	乳幼児親子の集いの場所を提供。	月17回	シニア交流センター内	3人	延べ： 5,255名	3,871
⑦学習支援事業 (松戸市委託事業)	中学生に勉強を教えるだけでなく、居場所づくりとしての機能を持ち、学力向上を通じ、自立する力を養う。	月2回 火木曜日	SRCビル2F 多目的ホール	14人	延べ： 734名	2,748

計 8,789千円